

小浜市・おおい町総合振興協議会が開催されました

このたび次のとおり総合振興協議会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

○とき

平成18年7月28日(金)
午後2時30分

○ところ

小浜市役所全員協議会室

昨年まで小浜・大飯総合振興協議会ならびに小浜・名田庄総合振興協議会としてそれぞれ設置していましたが、市町村合併により、本年3月におおい町が誕生したことに伴い、同じ枠組みで設立したものです。

この設立総会では、同協議会の名称、役員の選任などの協議が行われ、名称を「小浜市・おおい町総合振興協議会」とし、両市町議長が毎年交互に会長職につき、開催することを確認いたしました。

福井県市議会議長会臨時総会ならびに嶺南市町議議長会を開催

このたび、それぞれの議長の会議が本市において開催されましたので、その概要をお知らせします。

福井県市議会議長会臨時総会

○とき

平成18年8月11日(金)
午後2時30分

○ところ

小浜市役所全員協議会室

福井県市議会議長会は、県下9市の正副議長により構成され、事務局は福井市議会に設置されています。

本臨時総会では、補正予算の承認や事業計画の報告のほか、各市から提出された北陸新幹線の早期完成や道路改良、災害復旧など、それぞれの自治体が抱える諸課題について慎重に審議し、合計13件の議案を可決し、閉会しました。

なお、臨時総会において可決した議案は、福井県市議会議長会の要望事項として取扱うこととし、後日、福井県知事に対して要望書を提出する予定です。

嶺南市町議議長会定例会

○とき
平成18年8月25日(金)
午後2時30分

○ところ
小浜市役所全員協議会室

嶺南市町議議長会は、嶺南6市町の正副議長で構成するもので、毎年、敦賀市と小浜市のそれぞれの議長が交代で会長を務めています。

本年度は、小浜市議会議長を会長として定例会を開催し、各市町議会から提出された北陸新幹線問題や舞鶴若狭自動車道路の早期完成など、嶺南地域の振興と発展に欠かせない重要課題8件について慎重に審議し、すべての議案を可決いたしました。



もとに、嶺南地域の議会の総意として、後日、福井県知事に対して要望書を提出する予定です。

それぞれの議長会において審議、可決された主な議案は次のとおりです。

《福井県市議会議長会》

- ・舞鶴若狭自動車道の早期完成について
- ・北陸新幹線の早期整備について
- ・琵琶湖若狭湾快速鉄道の早期完成について
- ・冬期間における公共交通の確保について

など計13議案

《嶺南市町議議長会》

- ・舞鶴若狭自動車道の早期完成について
- ・北陸新幹線の整備促進について
- ・琵琶湖若狭湾快速鉄道の早期実現について
- ・広域農道の早期完成および維持管理支援について
- ・嶺南地域の観光振興について

など計8議案

議会日誌

過去3ヶ月のおもな議行事務を掲載します。

- 〔7月〕
- 18日 市PTA連合会との懇談会
- 19日 小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会中央要望
- 25日 全員協議会
- 27日 北信越市議会議長会交通対策特別委員会中央要望
- 福井県原子力環境安全管理協議会
- 〔8月〕
- 28日 小浜市・おおい町総合振興協議会 深谷・相生間道路建設推進期成同盟会総会並びに国道9号深谷線改良促進期成同盟会総会
- 2日 船街道交流促進会議総会
- 同日 303号追分陸道開閉促進期成同盟会総会
- 3日 北信越市議会議長会交通対策委員会地方要望
- 8日 議会運営委員会
- 同日 環境安全対策委員会
- 11日 福井県市議会議長会臨時総会
- 22日 北信越市議会議長会交通対策特別委員会(23日まで)
- 25日 嶺南市町議議長会定例会
- 30日 議会運営委員会
- 31日 全員協議会
- 〔9月〕
- 1日 琵琶湖若狭湾快速鉄道知事要望
- 3日 福井県総合防災訓練
- 5日 第4回定例会開会
- 11日 第4回定例会一般質問(12日まで)
- 13日 各常任委員会審査
- 22日 第4回定例会閉会
- 25日 小浜小学校起工式
- 27日 市長表彰選考委員会

9月定例会で可決した意見書

9月定例会において2件の意見書を可決し、関係行政官庁へ提出しました。
意見書の内容は次のとおりです。

●意見書案第2号
トンネルじん肺根絶を国に求める意見書

豊かで健全な社会生活を営む上で、安定した就業の場と安全で健康的な職場環境を確保することは極めて重要である。

じん肺という職業病は粉じん職場で働く労働者の命と健康を奪う不治の病で、あらゆる職業病の中で最古にして最大の職業病である。

国はじん肺法、改正じん肺法などで作業環境の改善および健康管理の充実等、各種対策が講じられているところであるが、今なおじん肺患者の発生が続いている。

特に公共工事であるトンネル建設工事から多数のじん肺患者が発生していることから、発注者でありじん肺防止の行政責任を負っている国が現在のじん肺防止の施策を抜本的に見直し、本来国が有する権限を適切に行使することが不可欠である。

ついでには、政府関係機関において、下記に掲げる政策を含めて、トンネルじん肺根絶に向けて、具体的な法制度によるじん肺問題の解決を強く要望する。

記

1. 国はトンネル工事現場での定期的粉じん測定や構内作業時間を規制するなど、トンネルじん肺被災者の防止対策を十分に行うこと。

2. 公共工事によって発生するトンネルじん肺被害者の早期救済を図るため「トンネルじん肺補償基金」を国の責任において創設すること。

●意見書案第3号
地方の道路整備の促進に関する意見書

道路は、国民生活や経済、社会活動を支える最も基本的な社会資本であり、活力ある地域づくりや安全で快適な生活環境づくりを推進するためには、その役割は大変重要である。

小浜市においては、「心やすらぐ 美食の郷 御食国若狭おばま」をテーマとした第四次総合計画のもと、地域の特色を生かしたまちづくりを推進しているが、国道27号を軸に構成されている本市の道路状況は、通勤時や観光シーズンの交通停滞は言うまでもなく、まだまだ狭隘や急峻な箇所が多く産業活動や市民生活に大きな支障をきたしており、快適で住みよい社会基盤の形成をめざした地域づく

り、道づくりの上からも憂慮されている。

このような状況の中、昨年末に、道路特定財源の見直しに関する基本方針が示され、見直しへの作業が進められているが、道路整備に対する国民のニーズは依然として高く、本市のような地方の道路実情を深く認識され、引き続き道路整備の推進が強力に図られるよう、次の事項について特段の配慮を強く要望する。

記

1. 道路整備に関する新たな長期計画を策定し、所要の道路整備費を確保すると共に、地域の実情を踏まえた個性と魅力ある地域づくりの施策を、長期的な視点に立って一層推進すること。

2. 道路特定財源は、一般財源化することなく、受益者負担の原則に則り、地方の道路整備を強力に推進するために充てること。

3. 舞鶴若狭自動車道（近畿自動車道敦賀線）の一日も早い全線開通を実現するため、必要かつ十分な予算を配分すること。

全国の自治体から注目を浴びています

本市では、早くから食のまちづくりを推進し、特に食を通じた教育、「食育」の先進地として、年間を通じて多くの議会から視察を受け入れていきます。

幼児自らが自分の手で行う料理体験「キッズキッチン」をはじめ、最近では、中名田地区で取り組み始めた、学校給食に地域内の地場産食材を使用する「校区内型地場産給食」の取り組みに対する評価も高まっています。視察に訪れた団体数、主な議会をご紹介します。

行政視察の受入れ状況

団体数 20件 (8月～10月)

◎視察いただいた主な議会

- 北海道北広島市議会
- 静岡県焼津市議会
- 愛媛県伊予市議会
- 佐賀県武雄市議会
- 長崎県長崎市議会
- ほか

編集後記

◎ご存知のとおり10月7日～9日にかけて、「食」を中心とした祭りが開催されました。初日はあいにくの天気でしたが、天候は徐々に回復し、大勢の方々が会場は埋めつくされ、賑わいが創出されていきました。一方、商店街へ目を向けるとイベントを開催しているのかと目を疑うような落ち着いた光景。早急な中心市街地活性化対策が迫られていると痛感しました。

〈広報委員会〉

委員長	深谷 壽勝
副委員長	下中 雅之
委員	垣本 正直
	清水 正信
	水尾 源二
	西本 正俊